

2024年3月期第1四半期 決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス
(スタンダード：9479)

2023年8月10日

免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

2024年3月期第1四半期業績

2024年3月期第1四半期業績ハイライト

- 不透明な景気動向の中、メディア事業が大きく減収となり、連結売上高は3,283百万円（前期比▲5.7%/▲196百万円）。
- メディア事業の中でも収益性の高い既刊書籍・デジタル・ターゲット広告が減収になったことで、営業利益は▲192百万円（前期比▲295百万円）、経常利益は▲166百万円（前期比▲292百万円）、当期純利益は▲182百万円（前期比▲248百万円）と大幅な減益となり、各段階利益で赤字を計上。
- 出版・電子出版は、既刊書籍が出荷減・返品増で減収、新刊書籍も好調なタイトルがあるものの、刊行点数減により減収となり、売上高1,708百万円（前期比▲4.7%/▲83百万円）。
- ネットメディア・サービスは、ネットワーク広告の市況感が変化する中で、広告単価が下落傾向となり、売上高427百万円（前期比▲5.3%/▲23百万円）。
- ターゲットメディアは、イベント収入は前期並みも、オンラインマーケティング需要の縮小が顕著となり、売上高209百万円（前期比▲16.9%/▲42百万円）。
- プラットフォーム事業は、電子コミックPFが前期第2四半期に出版社向けサービスの一部が終了したことで調整局面に入り、大幅減収。人気タイトルの牽引で想定を上回る推移ではあるものの、売上高619百万円（前期比▲11.4%/▲80百万円）。

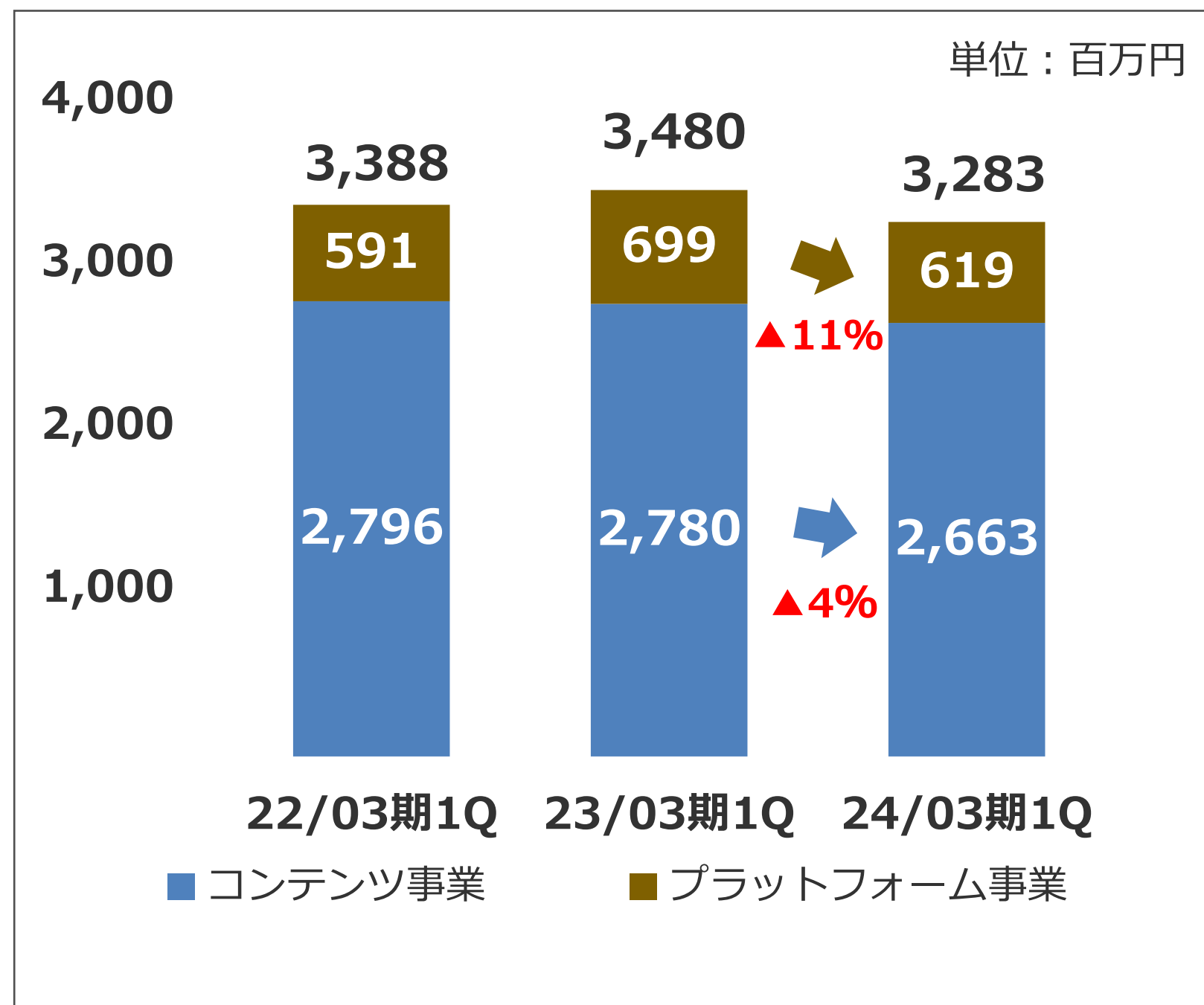
2024年3月期第1四半期連結業績

単位：百万円

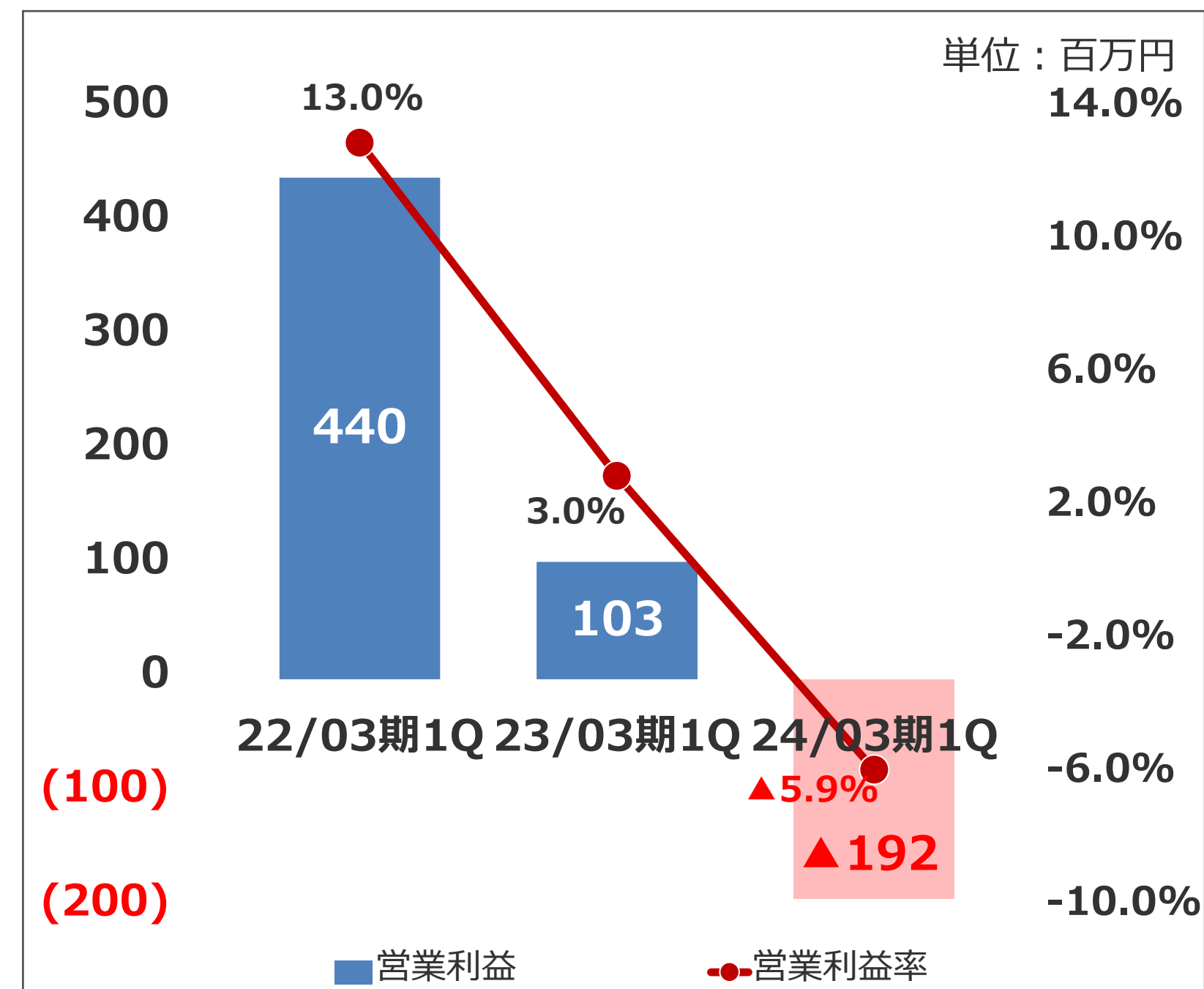
	23/03期 第1四半期	24/03期(当期) 第1四半期		
	実績	実績	前期比	
売上高	3,480	3,283	▲5.7%	▲196
営業利益	103	▲192	—	▲295
経常利益	126	▲166	—	▲292
当期純利益	65	▲182	—	▲248

連結業績推移 (3期比較)

■売上高

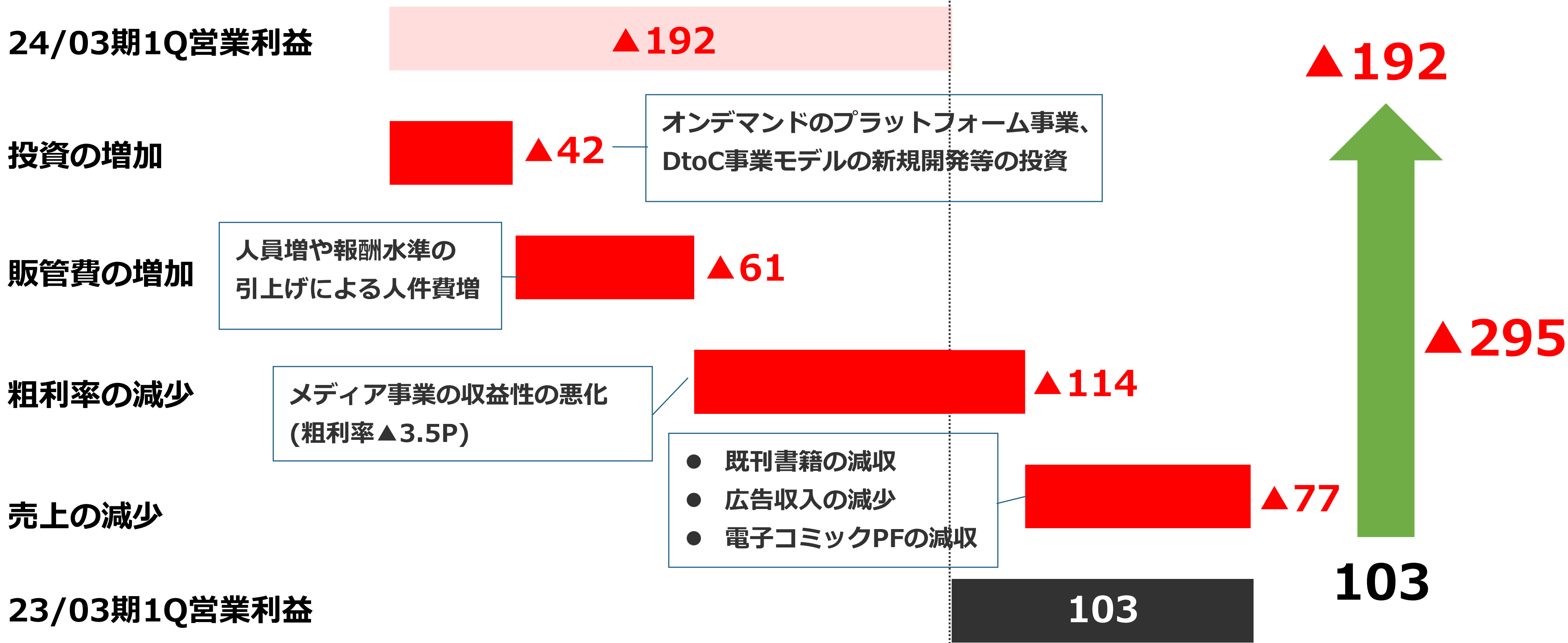


■営業利益・営業利益率



2024年3月期第1四半期 営業利益の減小要因

単位：百万円



事業区分・セグメント別業績概要

2024年3月期第1四半期 事業区分別売上高

単位：百万円

事業区分	23/03期	24/03期(当期)		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	2,780	2,663	▲4.2%	▲116
出版・電子出版	1,791	1,708	▲4.7%	▲83
ネットメディア・サービス	450	427	▲5.3%	▲23
ターゲットメディア	251	209	▲16.9%	▲42
ソリューション	285	318	+11.6%	+33
プラットフォーム事業	699	619	▲11.4%	▲80
合計	3,480	3,283	▲5.7%	▲196

2024年3月期第1四半期 事業区分別売上高の減少サマリー

単位：百万円

24/03期1Q売上高

3,283

3,283



▲196

プラットフォーム

電子コミックPFで出版社向けサービスの一部が終了



▲80

ソリューション

シフカ連結による増収



+33

ターゲットメディア

オンラインマーケティング需要の縮小で広告収入が減少



▲42

ネットメディア・サービス

市況感の変化でネットワーク広告が減少



▲23

出版・電子出版

- 刊行点数減による新刊書籍の減収
- 出荷減返品増による既刊書籍の減収



▲83

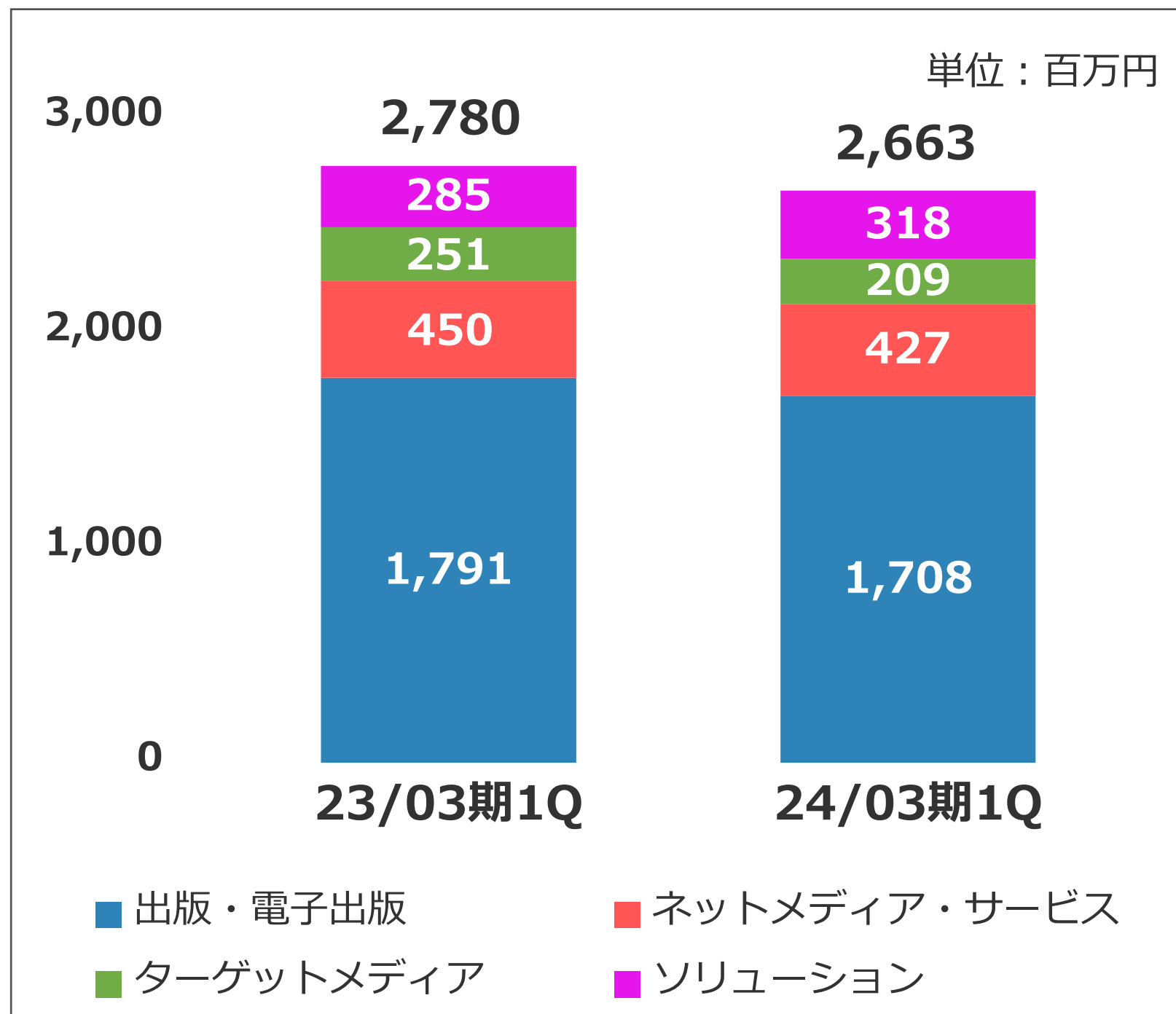
23/03期1Q売上高

3,480

3,480

2024年3月期第1四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業

■コンテンツ事業売上高

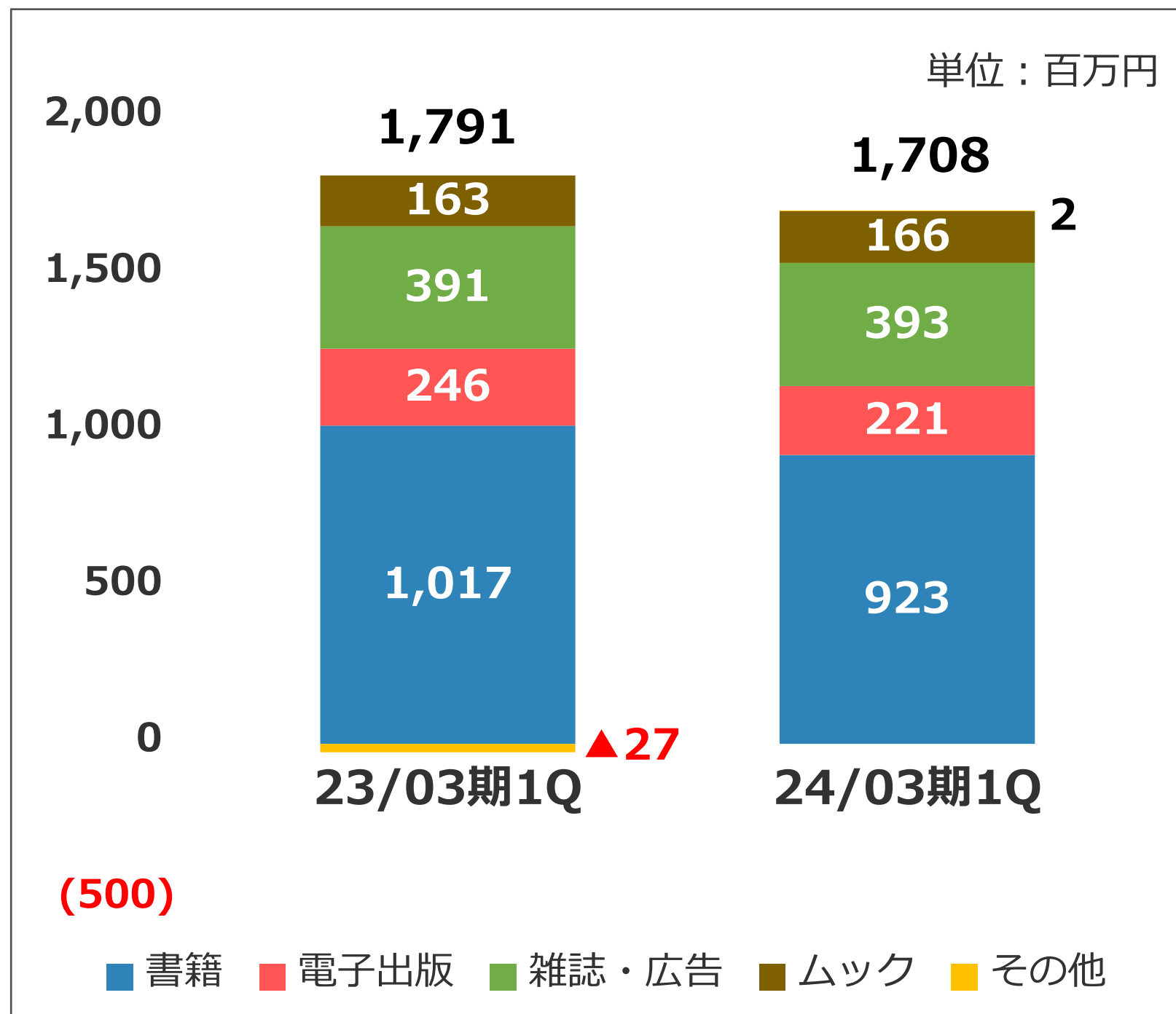


コンテンツ事業：▲4.2%（▲116M）の減収

- 出版・電子出版：▲4.7%（▲83M）の減収
新刊書籍は刊行点数減、既刊書籍は出荷減・返品増で書籍が大幅減収。
- ネットメディア：▲5.3%（▲23M）の減収
PVの減少は歯止めがかかったものの、ネットワーク広告の市場感の変化で、広告単価が下落傾向。
- ターゲットメディア：▲16.9%（▲42M）の減収
イベント収入は前期並みも、オンラインマーケティング需要の縮小により、広告収入が減少

2024年3月期第1四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業_出版・電子出版

■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高

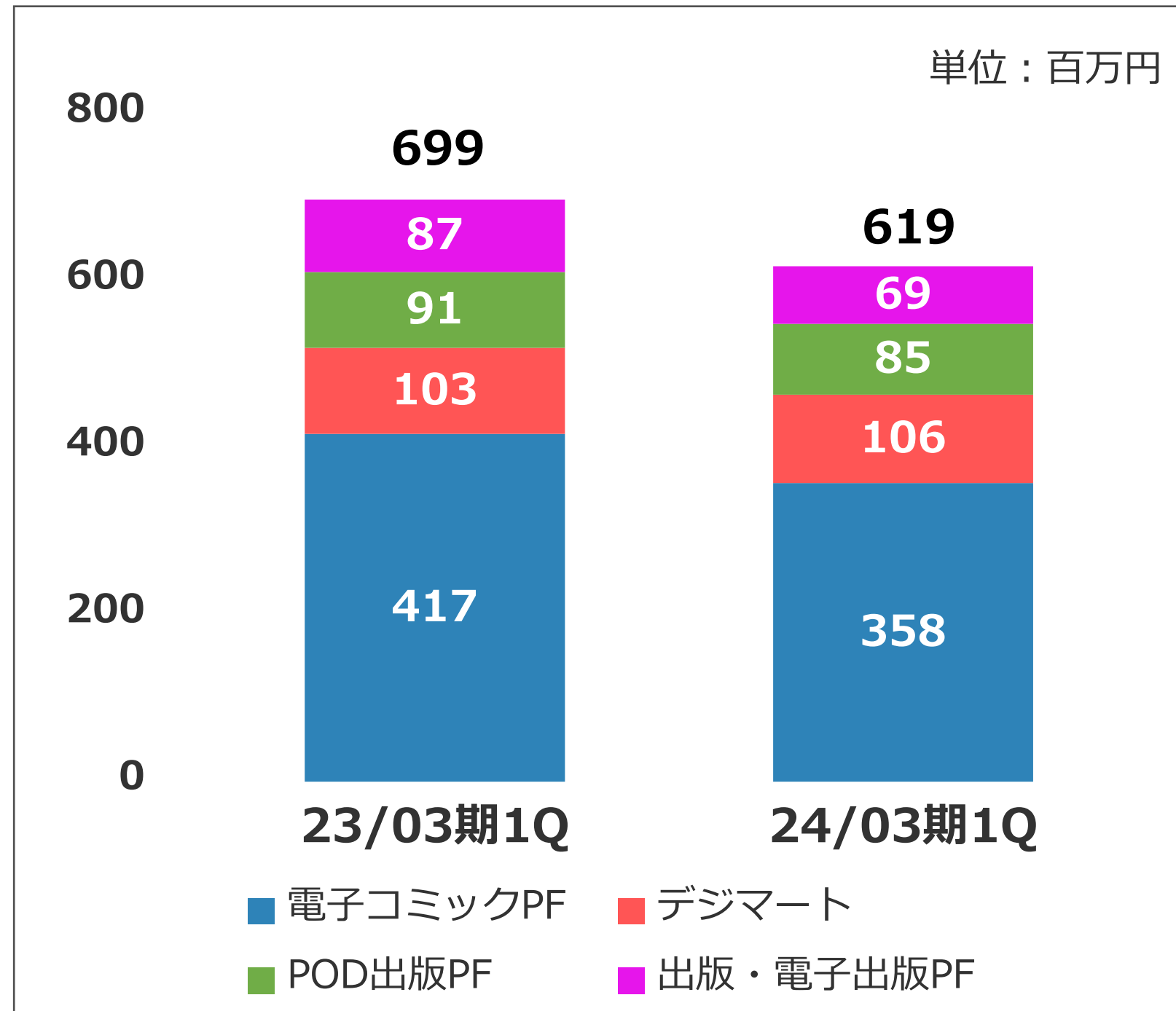


出版・電子出版：▲4.7%（▲83M）の増収

- 書籍：▲9.3%（▲94M）の大幅減収
新刊は、一部好調タイトルがあるものの、刊行点数減や前期音楽セグメントの大型タイトルの反動があり減収。既刊も出荷減・返品増。
- 電子出版：▲10.1%（▲24M）の大幅減収
モバイルサービスセグメントにおける人気タイトルの配信終了。
- 雑誌・広告：+0.5%（+1M）の増収
刊行点数減も、広告収入前年並み、雑誌の仕上がり良化。
- ムック：+2.0%（+3M）の増収
刊行点数減も前年並み。

2024年3月期第1四半期 事業区分別売上高：プラットフォーム事業

■プラットフォーム事業売上高



プラットフォーム事業：▲11.4%（▲80M）

- 電子コミックPF：▲14.2%（▲59M）の大幅減収
主力サービスは好調に推移したものの、出版社向けサービスの一部が終了したことにより、大幅減収。
- デジマート：+2.7%（+2M）の増収
取引高が堅調に推移、楽器店からの決済サービス収入が増加。
- POD出版PF：▲6.0%（▲5M）の減収
個人向けPOD出版サービスにおいて、ヒット作が少なく減収。
- 出版・電子出版PF：▲20.5%（▲17M）の減収
パートナー出版社の取扱減により手数料収入等が減少。

2024年3月期第1四半期 セグメント別概況

- メディア事業の厳しい動向を受け、音楽を除き各セグメントが減益となる厳しい結果となった。
- 最も減益幅の大きいITは、広告市況感の変化に伴い、収益性の高いネットワーク広告とターゲット広告が減収となったことと、販売管理費の増加により、大幅な減益となった。
- 出版事業を収益基盤とするデザイン、山岳・自然においても既刊書籍の出荷減・返品増により減収減益の結果になった。特にデザインは新刊書籍の刊行点数減も加わり大幅な減収となった。
- 事業構造改革フェーズにある航空・鉄道は、不採算な雑誌・ムックの刊行タイトルを整理しながら電子出版・書籍の拡大で増収も、販売管理費の増加で減益となった。
- モバイルサービスは、出版社向けサービスの一部が終了する調整局面で減収減益も、主力サービスは好調に推移し、想定を上回る推移となった。
- その他は、プラットフォーム事業等の新規開発に伴う投資で減益。

2024年3月期第1四半期 セグメント別売上高・セグメント利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	1,359	▲2.2%	85	▲172
音楽	496	+0.7%	▲12	+25
デザイン	160	▲31.9%	▲43	▲25
山岳・自然	326	▲3.0%	▲34	▲37
航空・鉄道	324	+7.1%	▲62	▲14
モバイルサービス	397	▲15.8%	91	▲7
その他	393	+37.3%	▲46	▲58
全社 + 消去	▲175	—	▲169	▲4
合計	3,283	▲5.7%	▲192	▲295

2024年3月期 連結業績予想の修正

2024年3月期 連結業績予想の修正について

- 第1四半期及び上半期の業績動向等を勘案し、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正。
- 第1四半期は、電子コミックPF事業は、調整局面の中で想定を上回る推移となったものの、メディア事業において、出荷減と返品増により既刊書籍の販売が低迷、市況感の変化によりデジタル及びターゲット広告の収入が落ち込み、期首の予想を大きく下回る推移となった。
- 第2四半期においては、既刊書籍の返品の増加については落ち着きつつあるものの、デジタル及びターゲット広告の市況感については継続する可能性があり、また新刊刊行の遅れ等が想定される状況である。
- 下半期の見通しについては、現時点では大きな修正を加えていないものの、上半期の新刊刊行の遅れのリカバリーと想定を上回る推移となっている電子コミックプラットフォーム事業の業績動向の上振れを加味した。

2024年3月期 連結業績予想の修正内容

単位：百万円

※23/5公表の期首予想から変更

	上半期			通期		
	今回修正	前回発表	増減	今回修正	前回発表	増減
売上高	7,150	7,500	▲350	15,500	15,850	▲350
営業利益	▲250	50	▲300	150	400	▲250
経常利益	▲200	100	▲300	250	500	▲250
当期純利益	▲250	60	▲310	100	350	▲250

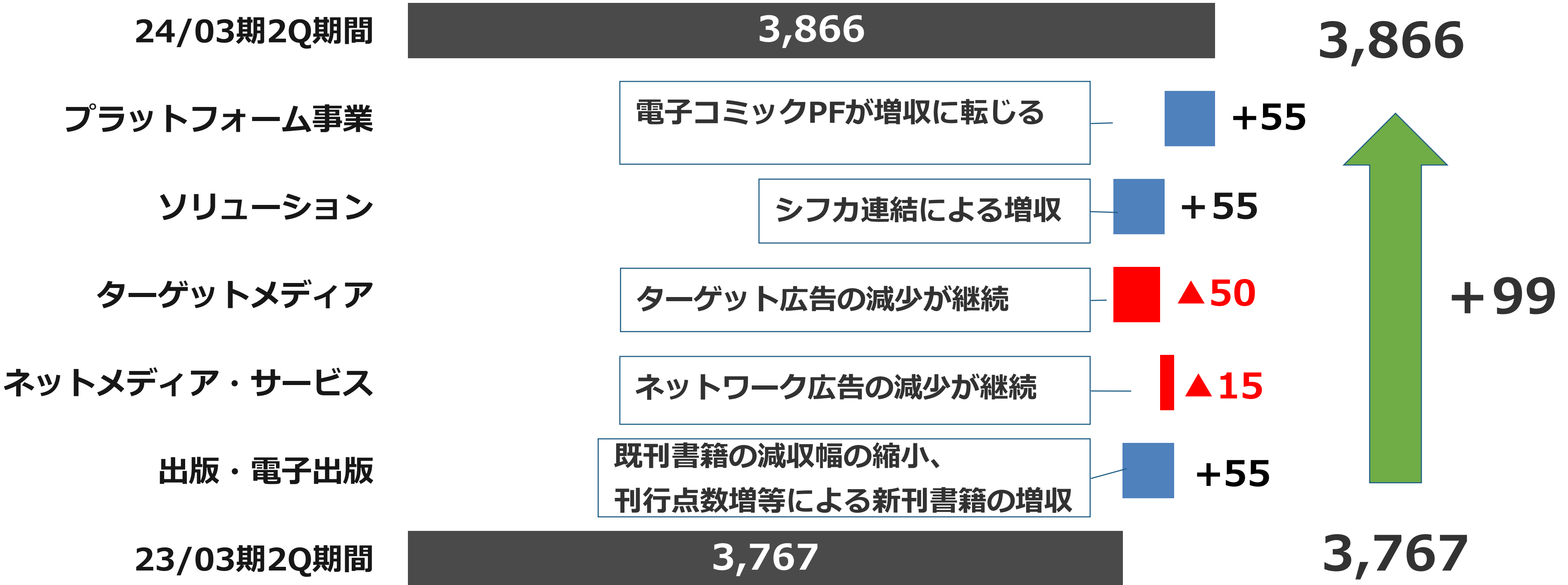
2024年3月期 連結業績予想の修正内容：前期からの増減

単位：百万円

	上半期			通期		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減
売上高	7,150	7,247	▲97	15,500	15,161	+338
営業利益	▲250	179	▲429	150	386	▲236
経常利益	▲200	213	▲413	250	494	▲244
当期純利益	▲250	147	▲397	100	375	▲275

2024年3月期 第2四半期(3か月間) 売上見通し(事業区分別・前期比)

単位：百万円



(参考資料) 当社グループの概要

当社グループの「セグメント」と「事業」





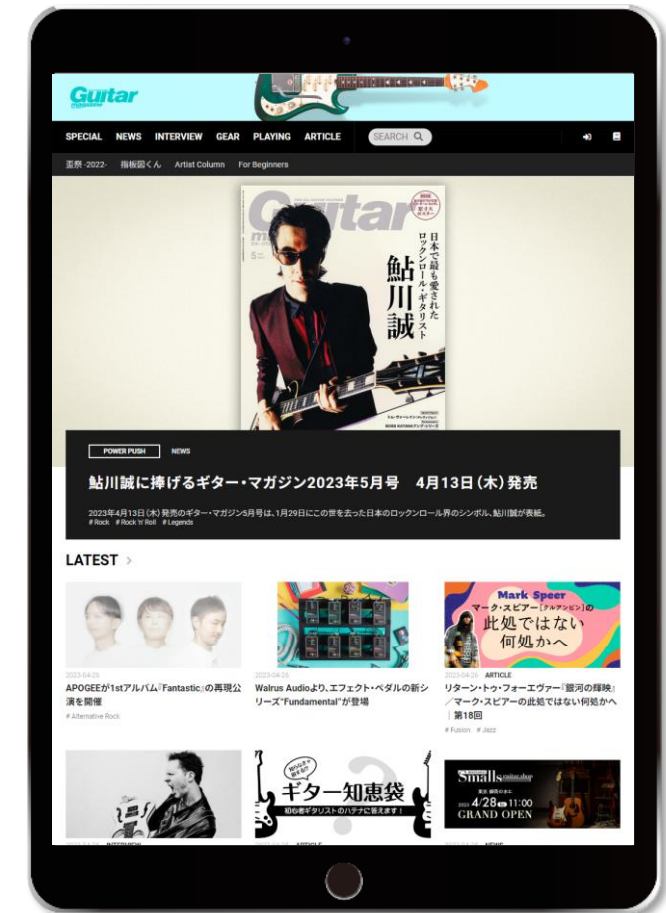
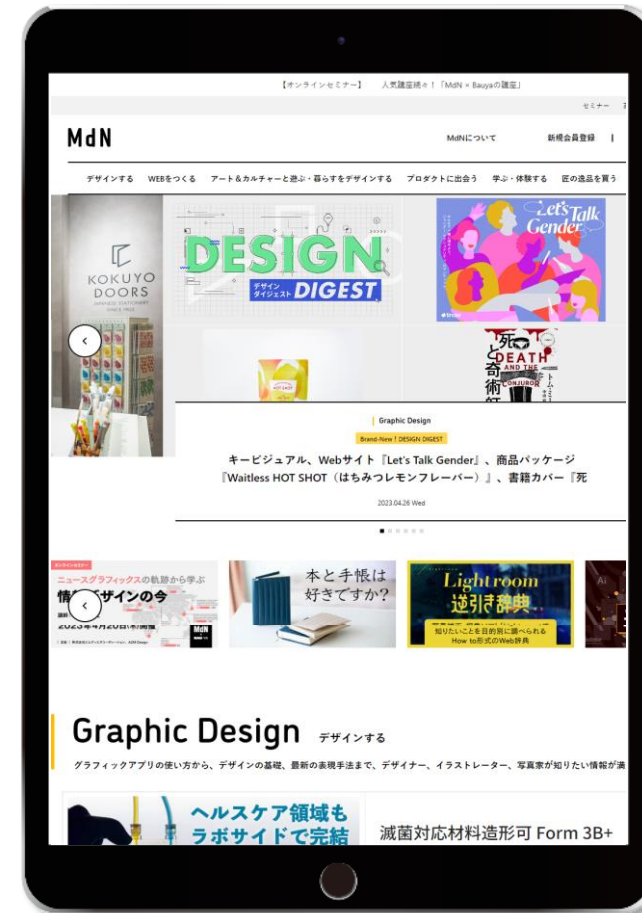
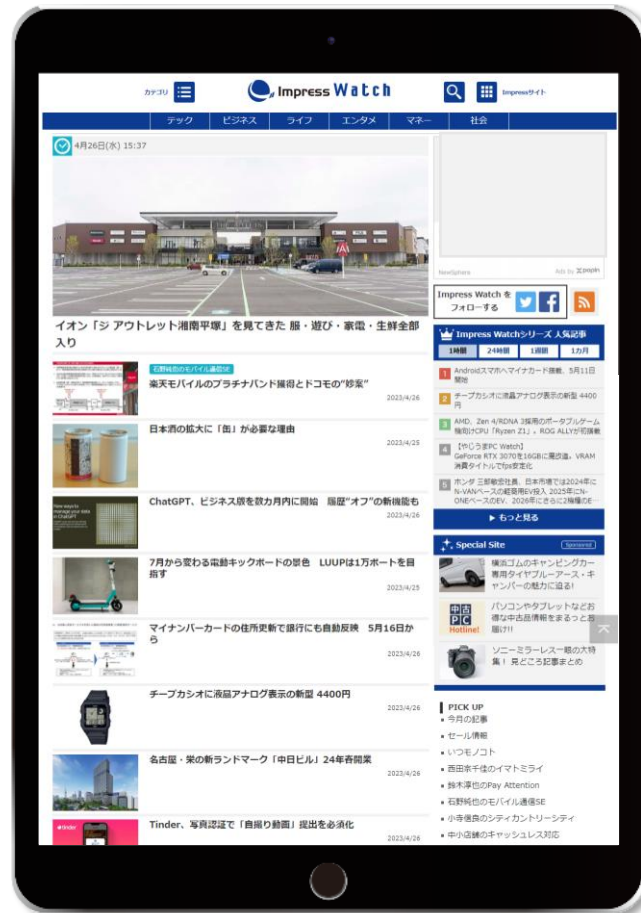
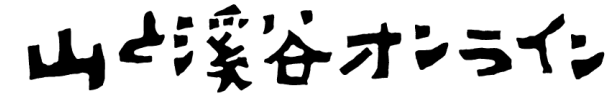
専門書籍・雑誌



電子書籍



年賀状ムック
カレンダー



デジタル総合
ニュース

登山

デザイン

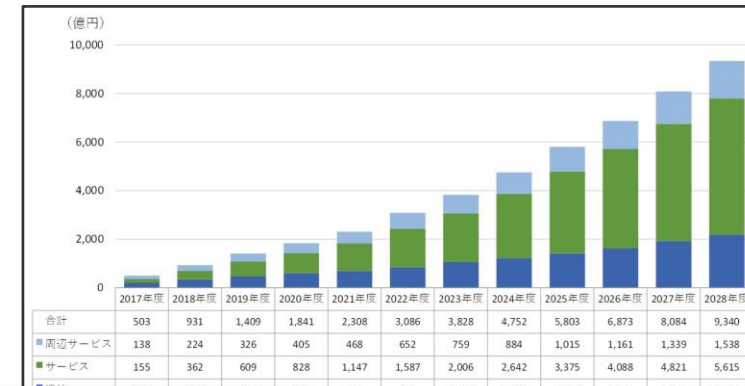
音楽



IT Leaders



ビジネスメディア



調査報告書

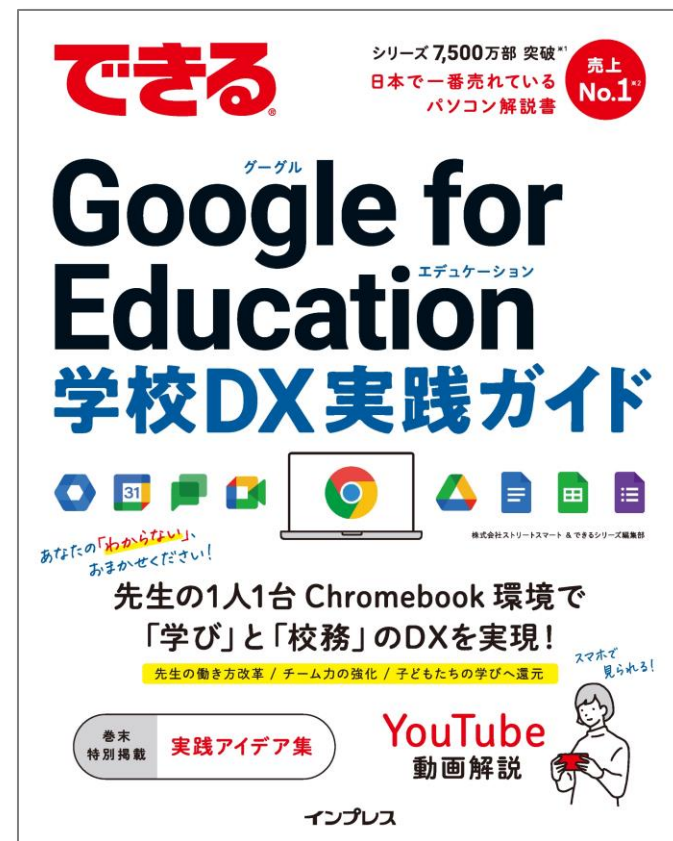
サービスと周辺サービスの3つで構成される。ローバー型、ポット型、潜水型)の完成品機体の国内での販売金額、ドローンを活用した業務の提供企業の売上額。ただし、ソリューションの一部のみの売上を推計。企業や公共団体が自社保有のドローンを活用する推計。周辺サービス市場は、バッテリー等の消耗品の販売額、定期メンテナンス市場。

出所：インプレス総合研究所作成



イベント・セミナー

コンテンツ事業 [ソリューション事業]



公財) 神奈川県観光協会

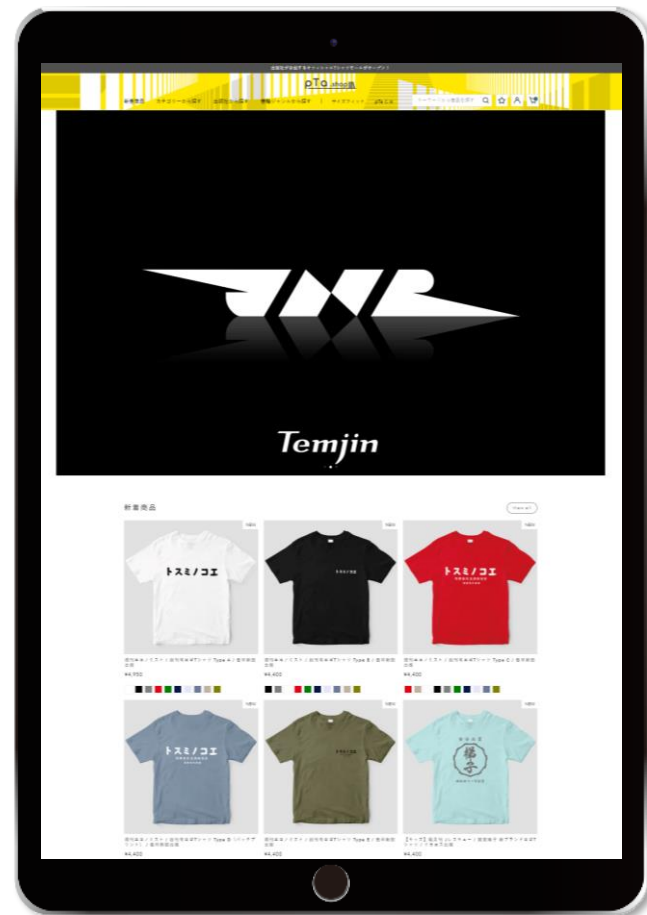
企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト等の制作受託

プラットフォーム事業

pTa.shop

楽器探そう!
デジポート

PUBFUN



EC
プラットフォーム

電子コミック
プラットフォーム

POD出版
プラットフォーム